

策定委員会広報・PIチーム第5回会議録(案)

会議の名称	川口市自治基本条例策定委員会広報・PIチーム
開催日時	平成20年6月2日(月)18時30分から21時00分
開催場所	川口市職員会館 2階 講座室B
出席者	(リーダー)伊田(昭)委員 伊田(清)委員、永瀬委員、堀和委員、林委員
会議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各部会での検討状況</li> <li>・広報について</li> <li>・PIについて</li> </ul>
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊田(昭)委員作成資料</li> <li>・第3検討部会の結果</li> <li>・広報かわぐち原稿案</li> </ul>
発言内容	<p>4月14日の会議録の確認 異議なく了承された。</p> <p>各部会での検討状況 リーダー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第5部会は編集委員会の話で時間が終了したので、広報・PIについては、宿題として次回議論することになっている。</li> </ul> <p>第1検討部会から</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報とPI、やる項目が多いかなという話があった。</li> <li>・対話集会は、地区、連合町会、さらに細かい分け方の3パターンのうちどれがよいだろうかという話であった。</li> <li>・政治活動と取られかねないことから議員は関わらないほうがよいのではないか、学識経験者も市内の地域への参加はなじまないだろう、ということから実質32名しかいない、さらに都合がつかない人も考えれば、参加人数は限られるという心配が出た。</li> <li>・出てくるであろう質問に対しての答え方、説明の仕方もよく考えたほうがよいという意見が出た。</li> <li>・市民フォーラムは諸準備も考えると、早くとも8月以降の実施になるのではないかという意見もあった。</li> <li>・ある委員さんからキャッチコピーの提案があった。 「咲かせよう まちづくりの花」、「育てよう きほんのき」</li> <li>・フォーラムでワークショップをやる場合に、植木鉢と木の絵を使って分かりやすくしてはどうかという提案があった。</li> </ul> <p>事務局</p>

- ・先に日程を決めて場所も押さえておいたほうがよいという話もあった。

#### 第2 検討部会から

- ・対話集会は難しい対応が必要ということもあり、今予定している市民フォーラムの前に、別のフォーラム的な説明会を開いて全検討部会長が説明を行ってはどうかという話があった。
- ・素案もフォーラムの前に公開して、事前学習期間を設けてはということであった。そうすると時期は7月では難しく、8月頃になるのではないかという話になった。
- ・47人ができることを広報するということが概ね了解が得られた。

#### 第3 部会検討部会から

(資料説明)

- ・市民フォーラム的なものを市内数箇所で行うことが現実的ではないかという話が出た。
- ・説明者についてはいろいろな意見があり、委員長と各部会長が行って同じ説明をしたほうがよいのではないかという意見、市民が説明したほうが筋であるし、参加者にとってもよいのではないかという意見があった。
- ・PIよりも周知PRが先決ではないかという意見もあった。
- ・条例の説明と対話のどちらに重点を置くかよく決めておいたほうがよい、それにより規模も変わってくるという意見もあった。

#### 第4 検討部会から

- ・広報PIチームの提案はこんなにはたくさんできるわけがないという意見が多かった。もっと具体的にいつからどんな規模でやるんだということを考えてくれという意見であった。
- ・部会が終わった後に部会の有志数人で話したのだが、そこでは、5、6回の対話集会を行って、各委員が自由参加で一回程度出ればよいのではないかということであった。人を集めるのであれば市長に来てもらい、宣伝をするのも手であるということであった。

#### 広報について

- ・広報かわぐちの7月号について、事務局の担当私案を検討。
- ・8月号については載るが、スペースについては未定。
- ・豆知識という形でやっていくことを確認。
- ・「川口市の憲法となる」と、「憲法」は違うという話があった。「憲法」という言葉の使い方を考えなければいけないのでは。
- ・たとえばと思う。自治基本条例ってなあにと市民に言われたときに、イメージしやすくするための比喩表現として、川口市の憲法と言っている。

- ・自治体の最高規範という意味だろう。
- ・行政だけではなくて市民も統制するという意味もでてくるだろうか。
- ・それはいま作っているなかで出てくる議論次第だろう。
- ・地方にも根幹となるものが要るだろうということで、自治基本条例は位置づけられていると思う。
- ・タイトルは豆知識か、それとも経過報告なのか。シリーズ化のことも考えるとどちらがいいのか。
- ・横書きにして目立たせる方法は取れないか。
- ・項目・内容の絞り込みとりを入れたほうが。

#### 事務局

- ・気になった点として、「これまで地方は国の言いなりだったが、これからは自治だ」とやや極端に言い過ぎていると思う。また「市民と行政との協働のために自治基本条例がある」と読まれても、それは本意ではないという意見もあるだろうと思う。
- ・内容は再度検討することとして、またメールでやりとりしたい。

#### 町会・自治会について

- ・もう少し待ってから回覧をという話もあるがどうか。
- ・回覧板で回すのであれば、6月5日のタイミングしかないと思っていた。
- ・これから回覧だとタイミングとしては、7月になるのだろう。そうすると遅いか。
- ・町会長さんをお願いしたら早めに回覧してもらえないのではないか。
- ・町会ごとに配り方は違うので同じようにはいかないか。
- ・広報かわぐち5月号の内容そのままよいので、回覧用チラシとして回していただく。時期については各町会にお任せするというところでよろしいか。

(異議なし)

#### マンション管理組合へのDMについて

- ・マンションコミュニティガイドブックが管理組合に800部配られるので、広報かわぐち5月号の内容を同封するとともに、その裏に依頼文を載せてはと考えている。6月7日までに市民パートナーステーションに届けて欲しい。
- ・策定委員会と市の連名にしたのだがどうか。
- ・市役所の名前がないと、市民にとっては不安があるのではないか。
- ・ではあとは事務局にお任せしたいと思う。

#### 事務局

- ・ 1つのマンションにつき1部ということか。1枚だけ配られたチラシを各マンションはどうするのか。送付するのはかまわないが、送っておいで対応は好きにしてくれでは、もらった管理組合側としては対応に困るのではないか。問い合わせもあるだろう。A4のチラシをたとえ掲示してもらっても見てもらえないだろう。
- ・ 掲示ではなく、マンション組合の理事さんにまず認識してもらおうという狙いである。うまくいけば住民にPRしてもらえらるだろうという考えもあるが、そこまで期待しているわけではない。
- ・ 送付文面は事務局にお任せしたい。

#### 事務局

- ・ お任せではなく、何の目的でこれを配布し、配布された理事さんには何をしてもらいたいのか、を決めて欲しい。
- ・ 理事さんに読んでもらえたらという目的で、マンションガイドブックの配布に便乗するものだ。
- ・ ご一読いただき、ご理解いただければ幸いですというくらいでよいのではないか。できるだけたくさんの方に読んでいただければと思いついたということでは。

#### 市民団体向け資料について

- ・ 市民パートナーステーションには、送る際に協力の内諾を得ている。時期としてはPIの動きも出てきてからでいいと思う。

#### 委員のチャンネル活用について

- ・ 各委員からのリアクションは特に無い。
- ・ メール文面は事務局に用意しているので、各自ではメールでの広報は可能だ。
- ・ メンバーから各部会委員に送って欲しい。

#### 事務局

- ・ 行政が関わるもので無責任にチェーンメール化しても問題ですので、誰に送ったのかは把握しておけるようにしていただきたいと思う。

#### ポスターについて

- ・ 林委員に作成準備をお願いしたいと思う。
- ・ 学校で子どもが書けるようなポスターはどうだろう。

- ・ 8月にフォーラムをする予定なので、それを目処に計画的に行いたい。
- ・ 予算はあるのか。

#### 事務局

- ・ 当初の予算はとってはいない。印刷屋に頼んできちんとしたものは、10万円はかかる。市の印刷室を使う方向で考えてもらえると助かる。
- ・ 具体的な図案などはあとにしても方向性などを林委員に考えていただきたい。

#### PIについて

- ・ 部会からの意見が出ているので、広報・PIチームとして絶対これはやりたいというものを検討したいと思う。市民フォーラムと地区別の対話集会は最低限必要だと思っている。
- ・ 対話集会は対話よりも市民の意見を聞くことを重視したい。また、司会進行は委員がやり、説明は委員と事務局がやることでどうだろうか。説明の簡易マニュアルやプログラムも必要となってくると思う。フォーラムの対話集会は、ワークショップ形式でと考えている。詳しくは部会の検討を待ってからとなるが。
- ・ 部会から検討材料として、対話集会の詳しい企画を出せと言われている。

#### 事務局

- ・ 別の部会でも同じ話がでている。具体案がなければ検討できないということだ。
- ・ 運営調整部会では、6月20日までに各部会から広報・PIチームに意見を欲しいということであって、そのときまでに広報・PIチームで具体案を出せということではなかったと思う。
- ・ 広報・PIチームで具体的に考えておいたほうがよいのは確かで、「より具体的に」という意見も部会での検討結果の1つなのだから、20日を待たずに広報・PIチームで具体案を検討すべきだと思う。

#### 事務局

- ・ 具体的にといったときに、ひとつは5W1H、いつまでに誰が何をやるのかという点を詳しく検討する必要がある。もう1つは優先順位で、限られたマンパワーの中で、これだけは広報・PIチームとしてやりたいというものを明確にすることだ。
- ・ 具体案を各部会に出して、それを戻してもらって、という時間がとれる

かどうか。

- ・対話集会じゃなくて、4箇所程度のミニフォーラムという意見もあった。
- ・どちらにしても、時間とマンパワーにも限界があるので、4回くらいしかできないのではないかという意見だ。
- ・実現可能性のあるものにしないといけないと思う。
- ・市長に来てもらうことも検討したい。
- ・集客のことも考えて、規模、エリア分けも考えないといけない。

#### 事務局

- ・目的との関係で必要な取り組みが変わってくると思う。まずは市民に広く自治基本条例について知っていただきたいという目的があるのだろう。そういう目的ならば1回の市民フォーラムで、たくさんの市民に集まってもらうことが効果的である。素案へ市民の意見を反映させたいというPIの目的のためには、例えば、フォーラムで分科会をして議論したり、参加者にアンケートをとったりすることが考えられる。必ずしも数回の会議が必要というわけではない。
- ・訴えたい相手にもよると思う。地縁団体なのか、市民団体なのか。
- ・駅の近くの人ならフレンディアは便利だが、遠い人には別の機会があったほうがよいと思う。
- ・大きなイベントとしてフォーラムをして、それとは別に例えば市民団体向けに対話集会をやるという方法もあるのかなと思う。

#### 事務局

- ・当初は、対話集会は地縁団体への周知・PIという目的だったと思うが。そのあたりの整理をしたほうがよい。
- ・地縁団体向けにはマンパワーがかかるので、市民団体向けに大きなフォーラムにするというのが当初の案だったと思う。
- ・当初はそうだったが、各部会からの意見の結果を聞いて、再度検討しなければならないと思う。
- ・大きなフォーラムというと分かるが、各市民団体向けの小さいものの違いをイメージできない。
- ・駅前だけでは参加者の地域が偏るという理由しかないのではないか。やる内容は同じでも異なった地域でやったほうがよいということも考えられる。
- ・今日はともかく、具体案をこれからすぐにでも詰めていかなければいけない。
- ・このスケジュール、時間で自分が考えていたPIはなかなか難しい。それ

で対話集会をということだったのだが、それでも、実際できるのという雰囲気になっている。

- ・まずは1回きちんとしたものができるように、きっちり準備したほうがよいと思う。それにはここで練らないと部会への説明ができない。1回やってみて、これで充分だよとなるかもしれないし、もっとやって意見をもらおうということになるかもしれない。
- ・どういう形でやるかは、とにかく決めないと。

#### 事務局

- ・5W1Hと申し上げたが、対話集会は別として、まずは市民フォーラムなりの1回分について、いつなのかを決めていただきたいと思う。また、具体的なイメージアップのためにも、当日のプログラムイメージを議論してはいかがか。
- ・いつなのかというのは難しい。いつ素案ができるのかわからない。

#### 事務局

- ・素案ができてからでは準備として遅い。素案の検討状況が途中ならば、その途中経過を市民フォーラムで報告すればよいと思う。
- ・策定途中だと、フォーラムでどこまで話してよいのが難しい。それでも、まずはフォーラムの1回分を具体化するしかないか。日程は決めておいて、素案ができてなかったら、素案になる前段階のものを見せてはどうかと思う。
- ・議員と部会長を引いた32人で、実際に動ける委員も限れている。
- ・部会ごとではなく、素案の項目別に当日のフォーラムは分科会をしてはどうか。
- ・ポスターは、いついつ何をやるから来てね、というポスターでよいか。
- ・その一回に向けて具体的な案にできないだろうか。
- ・他を捨てるというのではなく、まず一回のフォーラムがきちんとできるように企画を練っていこう。
- ・次の運営調整部会までに提示できるようにしよう。

#### 事務局

- ・市長を呼ぶのであれば、一番スケジュール調整の難しい市長の日程を先に確認しなければいけない。本当に呼ぶのか。
- ・編集委員会のスケジュール的には素案が固まるのは8月くらいではないか。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8月下旬から9月で市長の予定と会場が開いているときを確認してということとしたい。</li> <li>・ 次回は、フォーラムの中身をつめるということで、各自具体的な案を考えてきてもらいたい。事務局には8月下旬から9月にかけて市長と場所の都合がともにつくところを確認してもらいたい。</li> </ul> <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ フォーラムの開催日時は平日の夜間にするのか、土日の日中にするのか。どんな形でやるのかでも、変わってくると思う。</li> <li>・ 平日の夜の短い時間では難しいと思う。土日の午後でいきたい。</li> </ul> <p style="text-align: right;">以上</p>	
次回以降日程	平成20年6月17日(火) 18時30分から	
会議録署名	チームリーダー	メンバー